

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当社を取り巻く内外の経営環境の先行きにいまだ不透明感はあるものの、主要事業は計画に沿って概ね堅調に推移していることから、本年5月13日公表の通期見通しを据え置くことといたします。なお、業績の前提となる為替レートにつきましては、第2四半期以降も期初前提の[ドル=120円、ユーロ=130円]を据え置きます。

当社は、ここに掲げた業績達成に向けて、中期経営計画の方針に基づいて業容転換による事業の高付加価値化を推進するとともに、モノ作り改革とコーポレート改革により強靱な企業体質を確立し、製造業としての稼ぐ力の向上に努めます。

(単位：億円)

	2016年3月期業績予想 国際会計基準 (IFRS)	前連結会計年度 国際会計基準 (IFRS)
売上高	11,000	10,027
営業利益	770	657
親会社の所有者に帰属する 当期利益	500	409
ROE (注)	10.0%	8.7%

(注) ROE：親会社の所有者に帰属する当期利益／資本金、資本剰余金、利益剰余金、自己株式の合計 (期首・期末平均)

なお、前連結会計年度の親会社の所有者に帰属する当期利益／親会社の所有者に帰属する持分 (期首・期末平均) に基づくROEは8.0%となります。

(単位：億円)

	外部売上高		営業利益	
	2016年3月期 業績予想	前連結会計年度	2016年3月期 業績予想	前連結会計年度
情報機器事業	8,900	8,082	840	726
ヘルスケア事業	850	785	40	21
産業用材料・機器事業	1,250	1,127	210	197

※上記業績予想は、本資料の発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んだものです。

実際の業績は当社を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートの変動など様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

会計方針の変更

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除いて、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針基準と同一であります。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、以下の基準書を適用しております。この基準書の適用は、当社グループの要約四半期連結財務諸表に重要な影響を与えるものではありません。

基準書	概要
IAS第19号 従業員給付	従業員又は第三者からの拠出に関する会計処理の改訂